

## 【レポート】

2040年問題（団塊ジュニア世代が65歳以上になることでおこる様々な社会問題）の解決手段の一つとして、国・総務省や府は、「市町村合併」を志向しており、用務員部会として、市町村合併により予想される事象に対して、現状・課題を把握し対策を提言します。

# 学校用務員職場の今後の対策について

## — 市町村合併により予測される現状・課題 —

大阪府本部／現業評議会・用務員部会

### 1. はじめに

日本の人口は2010年の1億2,806万人をピークに2040年には1億1,092万人に減少し高齢化率は35.3%に達します。それによる労働力不足や社会保障制度の崩壊、医療福祉サービスの維持が困難になり、社会インフラの老朽化への対応など様々な問題が生じるとされています。大阪府においても2010年の887万人から2040年に、724万人に減少するとされており（大阪府政策企画部企画室）、全国と同様の問題が発生すると予想されます。

大阪府では、2040年問題への対応として2023年6月に大阪府議会に、「基礎自治体の充実・強化に関する特別委員会」が設置され7回の特別委員会の開催、同年10月の「中間発表」をへて2024年2月の府議会本会議に条例案が可決されました。用務員部会としては、2040年問題による諸問題解決手段として市町村合併推進が謳われていることから、今後大阪府内で市町村合併に伴う影響、特に学校園（用務員業務）について以下に記述いたします。

### 2. 予想される市町村合併に伴う学校園（用務員職場）への影響

#### （1）学校園統廃合

幼年人口・労働人口の減少、学校施設の老朽化に対して人的資源・資本の有効利用（建て替え・改修のコストカット、マンパワーの集中）を理由に学校園の統廃合が推進されると予想されます。結果、地域活動の拠点（地域のコミュニティーの核・防災・保育の拠点、地域の交流の場）である学校施設が無くなることとなります。

大阪府内学校園統廃合事例  
能勢町立能勢ささゆり学園

2016年に町内5小学校、2中学校を統合施設一体型小中一貫校、2022年に義務教育校に移管。通学路が、園から直線3キロ以上の者はスクールバスを利用。

※小中一貫校＝小学校を「前期」、中学校を「後期」と分けている。

※義務教育校＝区別なし、在校生は1年から9年生になる。

能勢町HPより

#### （2）学校選択制の導入

義務教育段階の小中学校等について、児童・生徒が進学する公立小学校・中学校を保護者が複数の中から選択する制度

大阪府内学校選択制導入事例  
大阪市学校選択制  
2014年導入

当時の橋下徹市長や大阪市与党の大阪維新の会の主張した「学校間競争」を促進するという趣旨のもと、住民説明では多くの反対意見が出たが導入されました。  
全国的には2003年に通学区域の弾力化が打ち出されましたが、2007年前後から撤退や縮小を打ち出す自治体が相次いでいます。

大阪市の事例は、近隣行政区や近隣の学校園への選択制の導入であり、対象児童生徒も一定の定足数が決められていますが、学校統廃合をすすめる手段として（競争原理導入の名の下、児童・生徒の獲得競争に負けた学校を廃校にする。大阪市立高校で採用された手法。）、スクールバスの導入とセットで市域全体の学区を無くすような自治体が出てくる可能性も考えられます。このような場合も学校統廃合と同様の影響が地域や児童・生徒に及ぼされると思われます。

### （３）（１）（２）による利用児童・生徒への影響

#### ① 通学路の長距離化、スクールバスの導入

スクールバス通学に関する指摘

- i スクールバス通学での生理的ストレスは確認されていないが、「脳賦活化」の懸念
- ii 部活動や放課後の教育活動が制約される懸念
- iii 歩かなくなることによる体力低下懸念
- iv 通学時間、通学距離がのびることによる安全面の懸念

※文部科学省「通学制限に係わる児童生徒の心身の負担に関する調査研究」より

#### ② 規模拡大で施設・学校行事の豊富化

資本を集中させることで、学校施設が充実する、職員や生徒・児童数増により、クラス替え、教員が多面的に児童・生徒に接することができ、学校行事も多数行える。

### （４） 用務員職場の業務内容、賃金労働条件の変更

#### ① 自治体により業務内容差異のすり合わせ

ア 執行体制（用務員による管理監督体制、営繕班の有無、常勤職員と会計年度＜非正規＞職員の配置基準）

イ 労働安全の取り組み、労働安全衛生委員会の開催有無頻度、安全教育、特別教育の受講範囲

ウ 業務内容の統一、合併自治体の業務を掛け合わせた最小公倍数になる可能性

エ 合併を機に現業職場の合理化提案、民間委託提案、任用替え提案

#### ② 俸給表適用範囲、休暇のすり合わせ

※ ①②ともに低位に合わせられないように合併に伴う協議に参加、政策提言を行っていく必要があります。

## 3. 大阪府の学校統廃合（用務員職場）の現状

2005年の堺市と美原町の合併以来合併は行われていませんが、2024年2月に大阪府議会で「合併推進条例」が制定されたこともあり、上記合併や、他県の合併事例の情報収集分析を行い来るべき「動き」に備えています。

### （１） 学校統廃合

現状府内では、幼稚園の廃園やこども園への移行が行われていますが、小学校、中学校の学区の統合

はあまり進んでおらず、小中一貫校・義務教育化が散見されます。ただ大阪府下においても例記した能勢町の例があるように、大阪市・衛星都市のような市域全体が市街地のような自治体と町村区域では現状が若干異なります。

## (2) 業務内容、賃金労働条件の変更

業務内容について、用務員部会での情報交換や同規模自治体・近隣自治体の動向や法令規則の変更等を注視しながら、当局と以下の項目等の協議等を行っています。

- ① 業務遂行上の必要な免許の取得
- ② 特別・安全講習の受講の範囲拡大
- ③ 安全衛生上必要な物品配備・貸与
- ④ 常勤職員の採用、非正規職員（会計年度職員・任期付職員・嘱託職員等）の待遇改善等
- ⑤ 業務内容の平準化、技術の継承の為に業務マニュアルの策定、変化に即した変更
- ⑥ 策定・整備した業務マニュアルを委託先のサービスの質・水準の検証に活用

大阪府内用務員業務委託事例  
吹田市立小・中学校校務員（学校用務）委託  
令和5年10月開始  
用務員業務については、偽装請負（学校長が直接委託先社員に指揮・命令できない・派遣業務は可）関係から大阪府内ではあまり導入されてこなかった。  
今回吹田市では、責任者（委託先）と作業員（委託先）に指揮命令系統（責任者が学校現場を訪問、作業員に業務を指示）を持たせ業務を完結させる。

※吹田市HP・吹田市立小・中学校委託仕様書より

## 4. 大阪府の学校統廃合（用務員職場）の課題

### (1) 学校統廃合

#### ① 統合により廃校になった学校施設の利用方法

売却により自治体運営委向上の為、資本再投下することや、民間活力の導入により「にぎわいを創生等」が出来ることもあり一概に否定するものではなく、利用方法については以下の

ア 地域における学校園施設の役割（地域活動の拠点、災害時の避難所、福祉施設の併設）

イ ロケーション（ターミナル駅に近い）や施設の設備・規模で最適な運営の担い手（公共か民間か 営利か非営利か団体か個人か？ 等）

を勘案して決定しなければなりません。その決定過程に用務員として、業務を通じて知り得た施設の情報（学校園と地域の関わり、施設の利用状況、施設の特徴）などを教育委員会・市長部局（財政部門等）に提供し参画していくことが肝要です。

学校施設の有効利用、廃校後の地域との係わり方などについては労働組合としても、公共サービスを担う様々な組合員がいることを活かし、他職種評議会・単組本体と一体となって学校統合に関する諸課題解決にむけて当局と協議をする必要があります。

#### ② 廃校後の地域活動の継続

学校施設が地域の核となり多様な活動（自治会・PTA・NPO・子ども食堂）が行われることが理想ですが、学校施設が売却された場合の活動継続のための後継施設の選定、残された場合でも新たな施設管理者との関係構築等の課題が残ってくると思われます。

### (2) 賃金、労働条件、業務内容の変更の課題

大阪府では、現業職員の採用は一部自治体で再開されているものの、退職者を完全に補充するほどではなく、多くの自治体では20年近く採用はなく常勤職員の高齢化、非正規化が進んでいます。

用務員職場も同様な状態ですが、偽装請負（指揮命令系）の関係で他の現業職場ほど、民間委託は一部自治体をのぞいてほとんど進んでいません。

① 市域学校園の業務総量を捌く為に常勤職員を営繕班やサポート班などに組み込み複数で大規模業務や業務執行にあたり免許や特別・安全教育受講を要する業務にあたっています。

② 一方学校園に配置されている用務員の非正規化（会計年度職員、任期付職員・嘱託職員）はかなり進んでいます。

③ 地域活動参加への希薄化・災害時役割分担

地域とのかかわりで、休日に行われる行事に参加できない、校務分掌で割当がないなど、学校園での役割が不明確になってきており、災害計画などが市長部局で作成され、学校施設で勤務しているにもかかわらず非正規職員ということも加わり役割を与えられていないという自治体が多く見受けられます。

## 5. 大阪府内学校統廃合に対する解決方法提案

### （1）学区統廃合

#### ① 用務員の廃校学校施設とのかかわり方

##### ア 公営の場合

廃校になった学校施設を行政施設として利用、災害には避難場所、平時においても防災倉庫、開放運動広場、行政サービスコーナー（証明書の発行・行政情報の発信場所）などの機能を持たせる。用務員は役割として、施設の管理運営維持・管理の為、業者との折衝や軽微な修繕等を行う。現時点では困難とおもわれますが、施設を訪れる市民・住民に何らかの行政サービスの提供（その補助）を行えるようにする。

例)

- 来訪者の質問に「FAQ・Frequently Asked Question／頻繁に質問が予想される質問にたいして回答をまとめたもの」で対応する。
- コンビニエンスストアに設置されている証明書発券機により対応する。
- リモート（行政担当者と施設来訪者）相談業務の補助等を行う。

##### イ 民営の場合

旧学校園施設をPFIや指定管理者等、自治体所有のまま、民間活力が導入される事例が現在でも多々みられ、これからも施設利用の主要な方法であり続けると思われれます。契約の内容にもよりますが、修繕等を自治体責任で行わなければならない場合などは、旧学校施設を熟知している用務員が修理業者との折衝、軽微なものについては用務員自身で行っていき、旧学校施設を持続可能に利用できるようにする。

その為に、職員の継続採用と、旧学校園施設のデータ化情報の共有をすすめていきます。

#### ② 廃校に伴う地域活動の喪失

ア 廃校に伴う地域共同・活動の場の喪失に対する対処ですが、まず用務員自身が配置職場のPTA（Parent-Teachers Association・保護者と教職員で構成されるボランティア活動を基本とした社会教育関係団体）に加入し保護者と活動を共にし、地域の実情や要望を把握し、管理職（学校園）に要望等を伝える。環境整備等に係ることなどに関しては、用務員自ら解決にむけて業務を行う。また「役所」の職員であることを活かし、教育委員会（市長部局）とも連携を行う。自治労単組においては、各評議会、中央とも連携をとり、交渉時や、事務折衝時にも同様な活動を行う。

イ 地域協同活動についても、配置職場における自治会や子ども会活動、学校園施設を利用するNPO活動にも、業務として参画する。上記PTA活動と同様関係各所と利用者をファシリテートしていく。単組においても同様のかわりをもっていく。

統廃合は、行政側として、関係団体と「役所の窓口」として担当部局との良好な関係の維持発展

につとめていく。

## (2) 業務内容・賃金労働条件の変更

業務内容については、合併にあたり各種条件の中、高位のものに合わせることを基本に、必要性のあるものは、この機に業務内容に含める。合併先が自治労未組織化のときは、組織化も同様に行う。民間委託されている場合も委託先労働者を公共民間として組織化に努めていきます。

### ① 特別・安全衛生教育の受講範囲の拡大

業務執行上必要なものについては、正規・非正規問わず受講していきます。その為の予算措置・研修、職免制度の確立。法規則改正にタイムリーに対応し必要性が認められたものには速やかに拡大を求めていきます。

免許必須業務（電気工事・ガス溶接・消防設備点検）についても同様の対応を求めます。

### ② 賃金・労働条件の変更

業務内容同様、高位の条件にあわせ、必要性が認められる手当等については創設を働きかけます。用務員の配置基準などの執行体制についても同様。

### ③ 用務員による命令系統の確立、技術の継承

用務員が管理監督者として、係員、非正規職員に教育・助言等を行い用務員個々のスキルアップ・「技術の継承」を行い、現有職員数で、最大の業務効果をめざしていきます。

### ④ 民間委託自治体への対応

民間委託された業務であっても、地方公共団体が提供するサービスの最終的責任をおう（公共サービス基本法）ことから、学校園の環境整備に従事する用務員（学校教育法施行規則第65条）がこれまでに得たスキル（技術・知識）を活かし、委託先が法令や仕様書に則り適正な業務を行っているかをチェックしていくことが必要だと思われまます。

## 6. 最後に

大阪府内では、常勤職員が少ないながらも存在し民間委託はそれほど進んでいない状況ですが、これから2040年にむけて起こることを予測し対処していくことが必要です。市町村合併、一部事務組合の設立などによる行政・公共サービスの広域化が行われ行政のコンパクト化・労働・幼年人口の減少など、学校園の統廃合は避けられない中、統合された学校園において提供されるサービスが維持向上されること。これまで地域共同・活動の拠点となってきた学校施設が廃校になっても同様に又新たな役割を付与されるように用務員（部会）として上記のような運動を現業評議会・単組・府本部と一体になって進めていきます。